



佐吉名勝圖會
四

ル 4
4795
4



4795
1



住吉名勝圖會卷之四目錄

住吉攝社	正印殿之圖	船玉社	立木之松圖	后土社	五所御前	苗見社	大海神攝社	國基社
鐸御前	海人子社	立聞社	惣社	侍臣御前	神樂所	奧天神社	大歳社	
楯御前	御井社	貴船社	若宮八幡社	子安社	大海神社	國助社	新宮社	

名吳濱 朴津海 敷津 淺香浦 名越濱 御田 依羅里 出見濱 粉冊野 鵲之橋

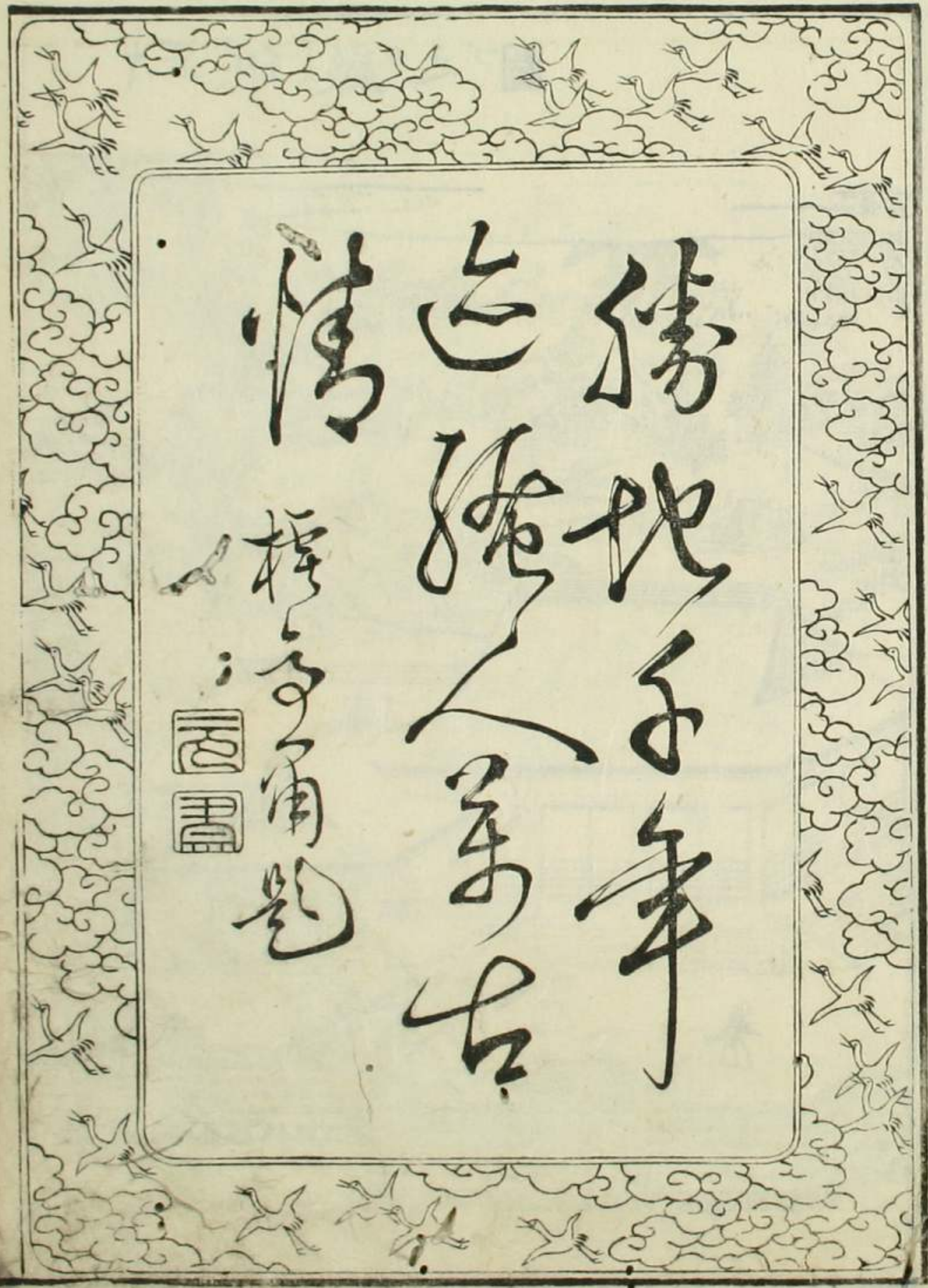
名吳門 津守浦 敷津浦 淺香瀉 名越森 細江 依羅原 玉出島 楢ヶ寄 岸野

朴津 津守沖 三三之洲 細子海 遠里小野 依羅池 依羅森 粉濱 往合橋 岸田

○ 若松社 鳥井 住吉名所 住吉濱 住吉里 住吉岡 淺澤 長居里 長居濱 名吳繼橋

履石 神木橋 住吉浦 住吉水門 住之江 淺澤小野 長井池 長居瀉 名吳入江

及橋 誕生石 住吉岸 住吉沖 住之江池 淺澤沼 長居浦 名吳浦 名吳海



霞松原
岸松原
忘州
小町茶屋
富士古跡

以上

住吉淵
忘貝
便宜水
おにこや松
行基松

安倍野
忘水
判官松
松榮亭



正印殿之之圖



鉾御前

三之神殿の北に有 南向の御社なり

鉾之社と云祭神経津主命 下総國香取大明神是也

相殿廣田明神

楯御前

四之神殿の南に有 北向の御社なり

楯之社と云祭神武甕槌命 常陸國鹿島大明神是也

○延喜式神名帳に楯原神社とあり見て鉾の社乃事見たり 大己貴と祭りとく 楯の社乃事代主とあり 添と云俗又傳

船玉社

楯御前の前 祭神天鳥船命 猿田彦天神 鹽土老翁

當社荒魂

延喜式神名帳に 船玉神社とあり

海人子社

井垣の外 祭神市杵島姫 又曰葦不合尊 玉依姫も云

一説葦不合尊と祭る故と 以てらまこの社と云といふ

御井社

海人子社の南に有東向の御社 祭神彦火火出見尊 豊玉姫 御社也竜宮とも云

立木松の圖



立間社

神田の傍住江山有西向御社也

祭神祝主御神也是則

經津主命之別号也

大和國春日社八第一天兒屋根命第二姬御

○立間ハ立本也當社の神主大神トシテ出仕の時先住江殿入リ殿の前ニ松樹ト植也是ト立本の松トシテ此事當社の秘事ナリト云此神本神ノ祭リ奉ル御社ナレト其名ト呼テ立本社トシテナリト云ク五音相通ト云ク本ト句ト訓ト事古書ニ明白ク立間ハ立本ト云クナリ

貴布祢社

住江山の下ニ有

祭神罔象女 相殿ニ龍神ト祭

此神雨也日和をよ

后土社

南神館ニ鄰リ

祭神保食神

神主の館内ニ神本アリ其名ト

物社

神供所御蔵

祭神保食神

或ハ三十二神ト祭ルモ云

御倉明神ト稱一奉ル

惣ハ倉ナリト云

若宮八幡社

一之神殿の南ニ有

祭神應神天皇相殿ニ武内宿禰ト祭

五所御前

右同

高間原ト云當社の深秘ナリ祭神知カド

一説ハ五代地神祭ト又説ハ八百萬神ト祭ルモ云

國盛社

若宮の後

神主國盛

國守大明神ト云當社

市恵比須社

西向の御社

祭神事代主命

大神の荒魂ナリ

おもととの社

神樂所の後

祭神田裳見宿禰

市姫

子安社

井垣の外ニ有

祭神產靈神

又曰高皇產靈尊

神皇產靈尊

天御中主尊

三神ト祭ルモ云

苗見社

三の神殿の北井垣の外

祭神宇賀御魂

延喜式神名帳

則苗見社ナリト云

寺岡の御社ト云

神樂所

東鑑云元曆二年二月十九日住吉神主津長盛參落經字聞去十六日當社行恒例御神樂之間及子刻鳴鏑出自第三神殿指西方行此間奉仕追討御祈靈驗掲焉者歟云云
 平家篁于讚岐國志度道場九郎義經追討之時也



大海神社

神宮寺の北隣西向の社也

祭神豊玉彦豊玉姬

延喜式神名帳大海神社二座元津守安神有

大海神社攝社

社内西北の角ニ有南向の社也

号志賀大明神祭神底津少童

中津少童表津少童

棟一うて扉三つありの志賀大明神の三神ハ彦火出見尊豊玉彦豊玉姬なり云

奥天神社

大海神社の北隣南向の社也

祭神少彦名命

延喜式神名帳奥天神社あり

○文明十四年十二月廿四日天満宮と祭る是本社の西江梅殿と号し小社なり

國助社

神宮寺の内ニ有

津守國助とす

國基社

浄土寺の内ニ有

津守國基とす

大歳社

細江の南ニ有

祭神素戔嗚尊之御子大歳神

延喜式神名帳大歳神社有

新宮社

本社辰巳津守寺の南ニ有西向の社なり

祭神事解男速玉男伊弉諾尊

伊弉册尊

又一神あり深秘して言難



方違社 艘松社 如意御前 甲明神社 三村社

右之五社ハ堺之部ニ見也

龍王社 星宮 大依羅神社 山坂社 三百歩社

八祖神社 葺不合尊社 蛭兒神社 火闌降命神社

右之數社祭神繪圖後編ニ出ル

履石 神館殿の 土倍の説云む 相應和尚登天の時履の留

反橋 神代高橋の遺製なり 天照太神高皇産靈尊

大己貴神と崇敬して造る處なり

鳥井 島本作りと云四方の鳥井と云本と作れ氏永

仁年間僧忍性天王寺の鳥井石を作りしより當社の鳥井も元和の御造宮に今は石の鳥井となれり

神木橋 三韓より我朝へ貢奉時橋と第一の貢と

せしより此本江植て神本と云なり 勘文ニ見たり

誕生石 三の本社の側 島津忠久出生の古跡なり 源將軍

頼朝士岐能負娘丹後局と寵愛懐妊以政子方深く

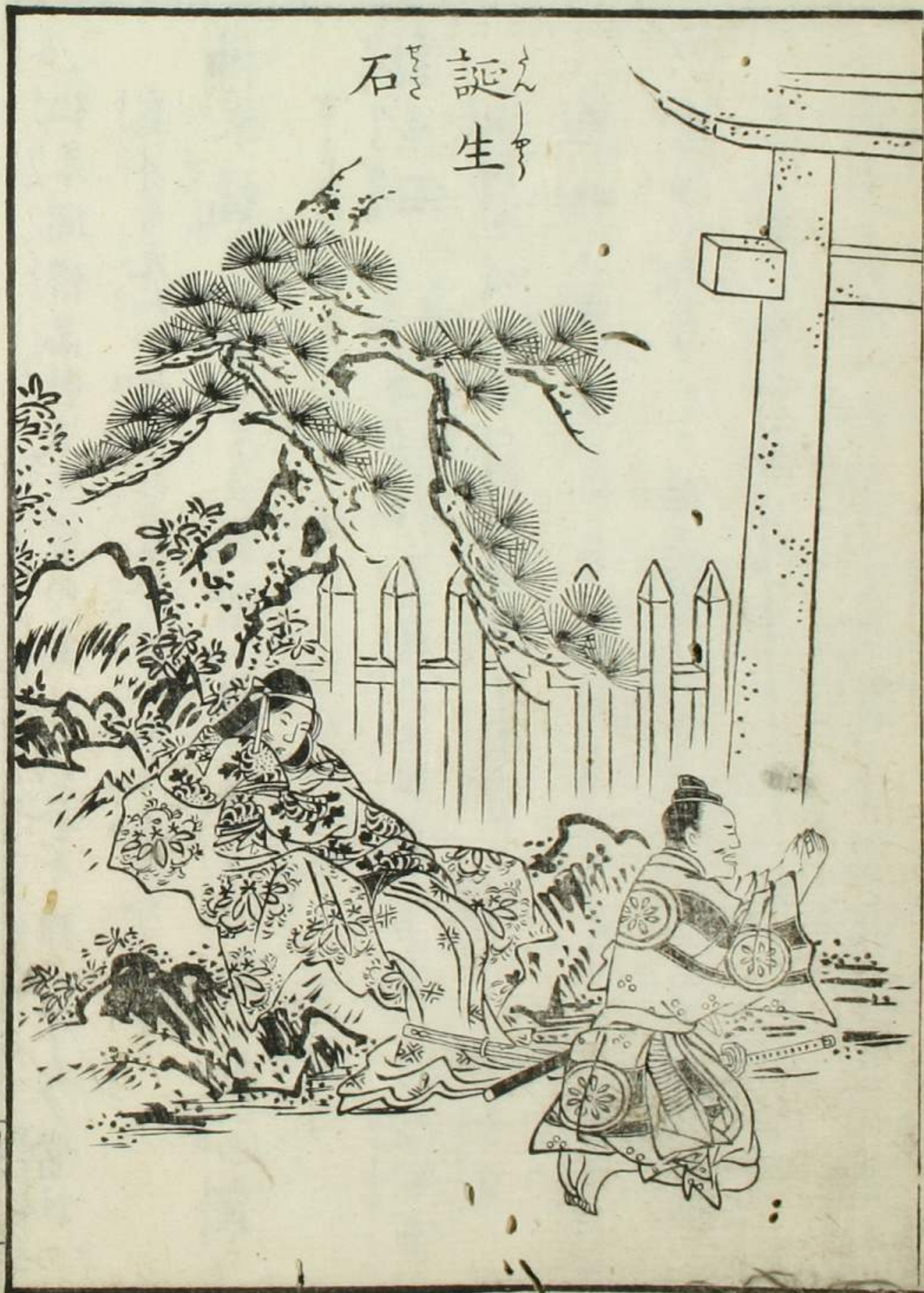
妬し丹後局と失んと斗る頼朝の臣牟多其便がきしに思ひ

をとり局とをりて津の國に來る住吉の社に在る時局頻く

きて産の氣色を見られん奉多驚き禱と石上より打掛局と

居て太神より祈誓して安産とす 終る産の紐易く

石誕生



解て一男子を出けに其後建久元年十月三日頼朝上治
 の將存多此事を以て詳み言に頼朝存多と稱して其方に
 伊賀伊勢の二州を賜ふ同十三年大隅薩摩兩國をわへ
 て島津三郎忠久と号はと云ふ

住吉和歌名所

住吉濱 住吉郡住吉

新古今

住吉乃濱此方ここ河ふ田鶴と

伊勢

住吉浦 同所あり

後拾遺

住吉の浦風いそ吹か

惠慶

住吉岸 同所あり

拾遺

すこやけきの藤浪系やの
 中川の梢の色をほ

兼盛

住吉水門 同所より
 住吉沖 同所より
 住吉岡 同所より
 住之江 同所より
 住之江池 神田の南蘆原
 浅澤 竜橋獨梁橋
 浅澤小野 大牟田細江の南東の田舎と小野より

夫木 名跡とて松よりかきとすまの
 後撰 此のいさしり 咲る藤と
 拾遺 住吉のきしりもいさしり沖はあ
 續十 かくおとすよとくなくとも
 夫木 雨とくもいさしりのとくなく
 重兼 秋とくもいさしりのとくなく
 續千 人らら浅澤の根并り
 為家 浅澤の先とく人らる雪の
 中宮 浅澤の先とく人らる雪の
 慈鎮 浅澤の先とく人らる雪の
 俊成 浅澤の先とく人らる雪の
 祐見 浅澤の先とく人らる雪の
 元輔 浅澤の先とく人らる雪の
 不知 浅澤の先とく人らる雪の







浅香浦 遠里小野村の前

浅香瀉 同右

細子海 住吉郡十八丁辰巳我孫村

名越濱 住吉郡住吉

名越森 同右

遠里小野 同右

御田 社地より

万葉 浅香浦の塩干乃ゆきおとすは 不知

万葉 浅香瀉の塩干乃ゆきおとすは 不知

夫木 名越のうみはなはらの海乃 不知

夫木 名越のうみはなはらの海乃 不知

夫木 名越のうみはなはらの海乃 不知

万葉 遠里小野の塩干乃ゆきおとすは 不知

夫木 御田の植女もつらぐ乃 家隆

細江 長山の川 竜橋の小川

詞花 細江

細江

相模



松榮亭

社務の内より

樂人富士古跡

淺澤のほとり云傳

行基松

倍傳よりみ行基上人と泉州の産なり

定より寓居してみつゝ植る處なりと

住吉名勝圖會卷之四終

